

日和山公園観桜期間について

<市長コメント>

日和山公園観桜期間について、報告いたします。

日和山公園の桜につきましては、旧レストランかしま前にある標本木に、6輪以上の開花が確認されたことから、3月31日に開花宣言をさせていただいたところであります。

このことから、日和山公園の観桜期間を、4月5日水曜日から、4月16日の日曜日までに設定しております。

また、7日金曜日、8日土曜日、9日の日曜日の日没から午後9時まで、ライトアップを実施いたしました。今後のライトアップの実施予定といたしましては、桜の開花状況にもよりますが、今のところ14日金曜日、15日土曜日、16日の日曜日を予定しております。

市民及び来園者の皆様には、4年ぶりの夜桜を楽しんでいただきたいと考えております。

なお、期間中は多数の来園者が予想されることから、常設されている日和山公園駐車場に加えて、鹿島御児神社北側駐車場と北西側駐車場、および旧寿楽荘前駐車場を追加し、約118台の駐車場を確保するとともに、駐車場には警備員を配置し、

渋滞の緩和や迷惑駐車防止に努めることとしております。

さて、山梨県北杜市ほくとしより寄贈いただき、令和3年3月29日に日和山公園に植樹した「きぼうの桜」についても、見事な花を咲かせております。この桜は、平成20年に若田光一わかたこういち宇宙飛行士とともに宇宙を旅して地球に帰還した、日本各地の名桜めいおうたちの種から育てられた苗木なえぎを、千年風化しない避難の目印として、さらには、宇宙から見える復興のシンボルとして、この星の子孫たちに残すことを目的に、東日本大震災の被災地などに寄贈されたもので、本市には、わが国最古の樹齢を誇る「山やま高神代桜たかじんだいざくら」直系子孫の苗木なえぎが寄贈されました。山高神代桜やまたかじんだいざくらは樹齢約2000年とも言われており、その子孫である「きぼうの桜」もまた千年以上生き続けると推定されるため、千年に一度の大災害であった震災の記憶を、未来へ語り継いでいくための活動の助けとなってくれるでしょう。これから毎年、「きぼうの桜」が開花し、それをたくさんの方が見に来てくださることで、震災の教訓もまた伝承されていくことを期待しております。

これからますます過ごしやすい季節となりますので、たくさんの方のご来園をお待ちしております。